

2011～2012年度 第2660地区インターアクト 海外研修

インターアクト委員会
委員長 奥田吾朗 (大阪RC)

今年度の海外研修は、8月4日から8日までマレーシアへ行って参りました。参加者は、インターアクトクラブ（以下IAC）の生徒、顧問、そして提唱クラブのロータリアン他41名でした。交流先は、マラッカ州タンピンにあるROTARY OF TAMPIN、同クラブが提唱している2つの学校のIAC、そして現地企業のコクヨ株式会社および現地企業でした。

今年度の海外研修は、奉仕、国際理解、指導力育成の3つの観点の中の特に国際理解と指導力育成に重きをおきました。過去の海外研修は、主に、研修先（国）のIACと奉仕活動を行いながら、親善および国際理解を深めてきました。今年度は、現地IACおよび現地日本企業（RC関係）の協力を仰ぎ、国際人としての素養を身につけてもらうことに重きをおきました。現在の日本とアジアを実感し、これからの日本とアジアを考えるための種を子供たちの思考に蒔く事を目的としました。

具体的には、テーマとして「自分を知る。日本を知る。相手を知る。アジアを知る。」を置き、次の2点を上記のテーマに沿って活動しました。

1. 現地の日本企業との交流。中から見ていた日本と外から見た日本（同様にマレーシア）について話をさせていただき、意見交換をしました。現地日本企業が肌で感じていることを聞くことが出来ました。また、工場の見学もしました。
2. 現地のIACとの交流。以下の点について準備し、英語でプレゼンテーションを行いました。
 - ①自分の国の誇れるところ、自慢できること、喜べること
 - ②自分の国の悲しむべきところ、恥じるところ、改善すべきところ
 - ③④相手の国について同様プレゼンテーション終了後、自由に意見交換をする場が設けられ、活発な意見交換が行われま

した。

以上が大きな流れでしたが、日を追って振り返りますと、初日、結団式にて岡部ガバナー、小山八尾RC会長からご挨拶をいただき、無事出発いたしました。クアラルンプールの国際空港から一路バスにて1時間半移動し、宿泊先であるタンピンのリゾート施設に到着しました。この施設は、タンピンRCの方の関係施設で、費用から施設利用まで様々な面でお世話になりました。

2日目は、日本企業を訪問し、現地のスタッフと一緒に食堂の食事をいただきました。ただし、ちょうど断食の時期と重なっていたためイスラム教徒の人との食事は出来ませんでした。午後からは、マラッカ海峡を含め、マラッカの観光地を見学しました。

3日目は、午前、マレーシアの企業を訪問。そして、午後、現地IACを訪問し、前述した意見交換会およびウエルカムパーティーに出席しました。パーティーでは、岡部ガバナーからの親書を渡し、バナーの交換を行うと共に生徒たちは、それぞれに準備していたパフォーマンスを披露しました。予定時間をオーバーするほど会は盛り上がり、生徒たちは、マレーシアと日本の交流の架け橋の土台をしっかりと築いていました。

最終日は、クアラルンプールへ移動し、観光の後、日本への帰路につきました。

総じて、十分に注意はしましたが、数名お腹の調子が悪くなりましたが、美味しい食事と素晴らしい天候、また、先方の心温まるホスピタリティーに恵まれ、貴重な研修となりました。

最後になりましたが、同行された先生方とロータリアンに感謝すると共に、この研修を支えていただいている各RCおよび地区の各位に心から御礼申し上げます。

